

2021年度春学期 成績評価方法について

2021年度春学期の政治経済学部授業は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のためオンライン実施となっている科目があり、その環境変化によって学生が不利にならないよう、成績評価方法も下記のとおり一部変更されます。

■相対評価割合の緩和

政治経済学部においては、従来外国語科目や30人未満の少人数制の科目等を除き、原則以下の割合に基づき相対評価を行っていますが、今学期はオンライン授業科目の内、教場試験を実施しない科目においては、厳格にこの基準を適用することはありません。

成績評価	A+	A	B	C	F	G	H
相対評価 割合	10%以内			30%程度			対象外
	30%程度						
	70%程度						

■レター評価の継続適用

政治経済学部では、今学期は全科目において、従来のレター評価(A+,A,B,C,F,G,H)を継続します。2020年度においては、一部科目において例外的にP/Q(合否)評価を適用しましたが、今学期においては、新型コロナウイルスの感染拡大により教場試験が出来なくなった場合であっても、P/Q(合否)評価へは変更せず、レター評価を継続する運用とします。

各科目内での評価方法の詳細については、担当教員に確認してください。

※英語学位プログラム科目の適用対象については、別掲「Grading for Spring Semester 2021」をご覧ください。

2021年6月9日
政治経済学部